

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	195	子ども会活動費補助事業						
	この事務事業 の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
			施策		安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう						
			基本事業		地域で子育てを支える環境						
	主管課名		子育て支援課		課長名	伊藤 昌代					
	この事務事業の開始時期		平成13年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区子ども会活動事業実施要領								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	地区における子どもの健全育成を図り、児童福祉の増進に資することを目的に、子ども会（19団体）、ジュニアリーダークラブ（1団体）及び子育てクラブ（17団体）へ補助金を交付する。また、地区子ども会の諸活動の助長に関する事業を支援することにより、みよし市における子どもの健全な育成を図ることを目的として活動する子ども会育成連絡協議会の運営に対して補助金を交付する。				子どもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにするを目的として活動する団体を支援するため。 活動子ども会 19団体 活動休止子ども会 6団体（高嶺、山伏、平池、中島、好住、上ヶ池）						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			各団体から提出された補助金交付申請について、内容を審査し、交付決定通知を行い、補助金を交付した。事業完了後は補助金実績報告が提出された。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	行政区によっては子どもの人口が減少し、子ども会活動の継続が困難な地域がある。				名称		単位				
					①	小学1～6年生の児童数	人				
		②									
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
①子ども会 ②ジュニアリーダークラブ ③子育てクラブ					名称		単位				
					①	子ども会数	団体				
		②	子育てクラブ数	団体							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
子どもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにする。					名称		単位				
					①	子ども会会員数	人				
		②	子育てクラブ会員数	人							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
子どもが心身ともに健全に成長する					名称		単位				
					①	子育て環境に対する市民満足度割合	%				
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人			3,840	3,738	3,757	3,790	3,808			
	②										
(2)の 対象指標	① 団体			19	19	19	19	19			
	② 団体			17	17	17	17	17			
(3)の 成果指標	① 人			3,062	2,970	2,970	2,970	2,970			
	② 人			2,330	2,180	2,180	2,180	2,180			
(4)の結果の 成果指標	① %			86.6	87	87	87	87			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	5,081	5,786	5,524	5,524	5,524			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	5,081	5,786	5,524	5,524	5,524		
人件費 B	千円	0	0	5,040	5,120.6	5,120.6	5,120.6	5,120.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	250×6	254×6	254×6	254×6	254×6			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	251	250	240	230	210			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	10,372	11,156.6	10,884.6	10,874.6	10,854.6			
単位あたりコスト	① 千円/団体	0	0	545.9	587.2	572.9	572.3	571.3			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/団体	0	0	610.1	656.3	640.3	639.7	638.5			

事務事業名	No.	195	子ども会活動費補助事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	補助金を交付し、事業が実施されていることにより、目的が達成できている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	地域で子どもが主体的に活動する団体へ補助するものであり、対象を見直すことはできない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	地域社会における児童の福祉の増進に資することを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	行政区単位ではなく、広域的な受入れを実施することにより、子ども会活動が休止している行政区に居住する子どもが活動に参加することができる。		
		目的達成状況	内容	対象児童が、各地区平均で80.8%加入している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 地域で子どもが主体的に活動する団体の運営費の一部を補助している。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	同様の目的で活動する団体はあるが、管轄する国の省庁が異なるため、統廃合することはできない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	行政区単位ではなく、広域的な活動を推奨することにより、効率的な活動に繋がり、事業費を削減することができる。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	運営費の一部を補助を補助する事業であるため、受益者に負担を強いるものではない。		

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	子ども会活動費補助金、ジュニアリーダークラブ活動費補助金、子育てクラブ活動費補助金及び子ども会育成連絡協議会活動費補助金の交付。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 地域の子ども会役員や子育てクラブ役職者は、多くが毎年交代するので、地域での子ども会組織の担い手の育成という面では懸念される。 子ども会活動のない行政区の子どもを隣接する行政区の子ども会に所属することができないか、調整していく必要がある。	
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	200	児童館等活動運営事業							
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		子育て支援課		課長名	伊藤 昌代						
	この事務事業の開始時期		昭和43年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	児童館（13館）及び集会所内児童厚生施設（12施設）を設置し、児童が安心して遊ぶことができる場を提供する。各施設に児童厚生員を配置し、児童館等行事を通じ、地域児童の育成及び指導行う。				各種行事等の開催を通じて、児童の情操教育や連帯意識の高揚を図る。							
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			児童館は午前10時から午後5時まで、集会所内児童厚生施設は午後1時から午後5時まで開館し、児童厚生員が企画した誕生日会、クリスマス会、6年生を送る会等の行事を実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	施設の老朽化により、修繕を必要とする箇所が増加している。				名称		単位					
					① 児童館等年間開館総日数		日					
					②							
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
18歳未満の児童					名称		単位					
① 18歳未満の児童数				人								
②												
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
安心して過ごすことができる					名称		単位					
① 児童館等年間利用者数				人								
②												
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
児童が心身ともに健全に成長する					名称		単位					
① 子育て環境に対する市民満足度割合				%								
②												
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 日			5,975	6,150	6,150	6,150	6,150			
		②										
(2)の 対象指標		① 人			11,611	11,262	11,620	11,500	11,385			
		②										
(3)の 成果指標		① 人			100,623	100,700	100,800	100,900	101,000			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %			86.6	87	87	87	87			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	03
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	74,904	19,707	10,314	10,314	10,314			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	74,904	19,707	10,314	10,314	10,314			
人件費B		千円	0	0	2,688	2,688	2,688	2,688	2,688			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	200×4	200×4	200×4	200×4	200×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	144	130	120	110	85			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	77,736	22,525	13,122	13,112	13,087			
単位あたりコスト		千円/人	① 0	0	6.7	2	1.1	1.1	1.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	② 0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	200	児童館等活動運営事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	地域に密着した安心して過ごせる居場所を提供するため、環境を整備している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童福祉法に定められた児童（18歳未満）を対象としており、見直すことはできない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し情操を豊かにすることを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	児童厚生員への研修等を実施し、資質が向上することにより、地域児童の育成及び指導に繋がる。	
	目的達成状況	内容	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者数が減少したが、令和2年度以降は概ね計画どおりの利用者数で推移する予定。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 地域で子どもの成長を見守る環境を整備するため	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	社会福祉施設に関わる事業との統合は可能だが、事務が煩雑になり効率化を図ることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	児童厚生員は令和2年度以降、特別職から会計年度任用職員に移行している。従事時間については、開館時間が固定であり、配置職員人数は適正であるため、削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	児童が心身ともに健全に成長するための場所を提供するものであり、受益者負担を求める施設ではない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	児童館（13館）及び集会所内児童厚生施設（12施設）の開館	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様同規模で実施
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 地域健全育成のため現在の活動運営を維持していく。	
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			